

過肥子牛にも対応でき、神戸ビーフ率75%以上が狙える 但馬牛理想肥育マニュアル(去勢牛版)

【目的・成果】 但馬牛肥育牛の飼養技術において、特定の要因(粗飼料給与レベル、タンパク質濃度、ビタミンAレベル)が産肉性に及ぼす影響を明らかにし、さらに、肥育素牛を体型と栄養状態で区分し、それぞれのタイプにあった給与指針を作成しました。

但馬牛をこのマニュアルにしたがって肥育すると75%以上が神戸ビーフ(BMSNo.6以上)になります。



但馬牛理想肥育マニュアル Ver. 2.0

1 肥育素牛の区分(去勢牛)

	大型	中型	小型
体高(cm)	117以上	112-116	111以下

	正常	過肥
肥育度指数	210-240	240以上

体高が114cmなら体重が274kg以上で過肥

2 給与飼料

(1) 濃厚飼料 (クオリティー ビーフ)

飼料名	配合割合 (%)		
	前期	中期	後期
月齢	9-14	15-22	23-31
大麦	0	15	25
庄ペントウモロコシ	50	50	50
一般ふすま	40	30	20
大豆粕	10	5	5
TDN	73.2	74.1	75.1
粗蛋白質	14.9	12.6	12.1

(2) 粗飼料

導入後3か月間:

チモシー、オーツヘイまたはスーダン
β-カロテン含量: 10mg/kg以上

3か月目以降:

ウィートストローとライグラスストロー
ウィートストローとバミューダストロー
スーダン(β-カロテンの少ないもの)
稲ワラ(できれば20か月齢まで与えない)
β-カロテン含量: 2mg/kg以下

3 飼料給与量

月齢	正常発育子牛						過肥子牛					
	濃厚飼料(kg)			粗飼料(kg)			濃厚飼料(kg)			粗飼料(kg)		
	大型	中型	小型	チモシーなど	稲ワラ	大型	中型	小型	チモシーなど	稲ワラ		
導入後1か月	2.0	1.5	1.5	3.0		1.0	1.0	1.0	3.5			
2か月	2.5	2.0	2.0	3.5		1.5	1.0	1.0	4.0			
3か月	3.0	2.5	2.5	3.5		1.5	1.5	1.5	4.0			
4か月	3.5	3.0	3.0	3.5		2.0	1.5	1.5	4.0			
導入後2か月	4.0	3.5	3.3	3.0		2.0	2.0	2.0	3.5			
2か月	4.3	4.0	3.7	3.0		3.0	3.0	3.0	3.5			
4か月	4.8	4.5	4.2	1.5	1.5	4.0	4.0	3.0	3.7	1.5		
5か月	5.3	5.0	4.7			3.0	5.0	4.7	4.5	3.0		
6か月	5.8	5.5	5.2			2.5	5.8	5.5	5.2	3.0		
7か月	6.0	5.7	5.5			2.5	6.0	5.7	5.5	2.5		
8か月	6.5	6.2	6.0			2.0	6.5	6.2	6.0	2.5		
9か月	7.0	6.7	6.5			2.0	7.0	6.7	6.5	2.0		
10か月	7.5	7.2	7.0			1.8	7.5	7.2	7.0	1.8		
11か月	7.5	7.2	7.0			1.8	7.5	7.2	7.0	1.8		
12か月	7.5	7.2	7.0			1.8	7.5	7.2	7.0	1.8		
13か月	7.5	7.2	7.0			1.8	7.5	7.2	7.0	1.8		
14か月	7.5	7.2	7.0			1.8	7.5	7.2	7.0	1.8		
15か月	7.5	7.2	7.0			1.8	7.5	7.2	7.0	1.8		
16か月	7.5	7.2	7.0			1.8	7.5	7.2	7.0	1.8		
17か月	7.5	7.2	7.0			1.8	7.5	7.2	7.0	1.8		
23か月	7.5	7.2	7.0			1.8	7.5	7.2	7.0	1.8		

月齢	大型	中型	小型
9	280	260	240
20	510	487	462
30	685	640	615

月齢	大型	中型	小型
9-15	0.70	0.69	0.67
20-25	0.49	0.48	0.48
9-30	0.60	0.60	0.59

4 管理

(1) 導入時(導入当日または翌日)

- ・ビタミンA200万IU経口投与
- ・抗生物質投与
- ・駆虫(イベルメクチン製剤、サルファ剤投与)
- ・除角

(2) 肥育前期(9-14か月齢)

- ・導入後3か月間は良質乾草(チモシー乾草等)を1日3kg以上与える。
- ・給餌時はスタンションを使用
- ・15か月齢までに5種混合ワクチン接種

(3) 肥育中期(15-22か月齢)

- ・血液検査(18か月齢): 血液中ビタミンA濃度を測定(目標: 50IU/dl)
- ・飼料摂取量が低下したときビタミンA5-7万IUを2-3週間隔で経口投与
- ・削蹄

(4) 肥育後期(23-31か月齢)

- ・26か月齢以降ビタミンA毎月30~50万IU経口投与
- ・削蹄

【技術の活用】 産地JA等と連携し、但馬牛肥育マニュアルを農家に普及し、飼養法の統一による斉一化した神戸ビーフの生産を図ります。